



長野県における食育の取組概要

	(頁)
1 若い世代への食育	2
2 世界一の健康長寿を目指す食育 . . .	7
3 食の循環と地域の食を意識した食育 . . .	14
4 信州の食を育む環境づくり	20

1 若い世代への食育

乳幼児期から保育所、幼稚園、小・中学校での食育に取り組むとともに、高校生や20歳～30歳代の若い世代も自ら「学ぶ」ことを通して食育を進めます。

目指すべき姿

- 子どもの親や、20歳～30歳代の若い世代が、食育に関心を持ちます。
- 家族や友人、地域などで様々な人たちと一緒に楽しく食事をする機会を持ちます。
- 幼児期から、毎日朝食を食べることを始めとして、基本的な生活習慣を身に付けます。
- 小中学生や高校生及び20歳～30歳代の若い世代が、自分に必要な食事を選択できるような知識を持ちます。
- 子ども達が、バランスのとれた食事を準備できるスキルを身に付けます。

主な指標

項目	ベース値(2016)	目標(2022)
食育に関心を持つ若い世代の割合		
20歳代男性	18.1%	33%
20歳代女性	48.5%	63%
30歳代男性	32.0%	47%
30歳代女性	57.2%	72%
ひとり又は子どもだけで朝食を食べる児童・生徒の割合	(小5) 28.1% (中2) 39.1%	減少

【県の取組】

〔保育所における食育を推進しています〕

保育所給食担当者研修会

- 保育所における食育や給食に関する研修会を保育所の調理担当者を対象に開催

各保健福祉事務所ごとに年1回開催

- 研修会の参加者の各保育所での実践



研修会での講話



子どもたちへの食育



研修会での発表

〔学校における食育を推進しています〕

学校・家庭・地域で取り組む食育推進事業

コロナ禍において、「十分な睡眠」、「適度な運動」及び「バランスのとれた食事」により、抵抗力や免疫力を高めることが大切であることが改めて認識されています。子どもたちが健全な食生活を実践できるよう、家庭や地域と連携し学校全体で食育を推進する体制づくりを進めています。

○つながる食育推進事業の展開

単発で実施する食育ではなく教科横断的な「カリキュラム・マネジメント」として食育を位置づけ、教育委員会や管理職だけでなく教科担任も含めて食育の実践を行うため、食育授業研究実践校を県内4校に指定。

公民の授業でファミレスのメニューと給食のフードマイレージを算出している様子

教室内の生徒は栄養教諭の開設を真剣に聞き、地域食材を給食に使用する意義や地産地消について理解を深めていった。特に、生徒がこの授業（給食後の5時間目に設定）の1時間前に口にした給食メニューのフードマイレージ(22322)を算出してみせたところ、その桁の違いから喚声があがった。



図5 栄養教諭の解説を聞く生徒や授業者の姿

○ 栄養教諭等研修等の実施

キャリア別研修の実施、文部科学省主催研修の受講などにより、学校における食育の中核となる栄養教諭等の指導力向上を図りました。また、R3より新たに市町村の課長級を対象とした研修を実施し、管理職の意識醸成を促しています。



Webを併用したハイブリッド研修会の様子

〔若者や働き盛り世代への情報発信をしています〕

InstagramやYouTube等のSNSを活用した普及啓発

健康づくりや食育についての関心が低い若者世代の利用率が高いSNSを活用した普及・発信を実施



アサヒ飲料株式会社と覚書を締結し、子育て世代をターゲットに普及啓発



絵本風ハンドブック「ACEでねええ！しあわせ健康長寿」、啓発ポスター、啓発動画を作成
(長野県出身の芸人「もう中学生」が作画)



【関係機関・団体等の取組】

児童・生徒・学生が、給食や各教科・科目等で食に関する知識や技術を学ぶことにより、生涯を通じ健全な食生活が実践できるよう取り組みます。

親子が一緒に参加できるイベントや料理教室等を開催し、食への理解を深めるとともに、皆で一緒に食べる「共食」に取り組みます。

《長野県栄養士会》

- 高校生のための食育出前講座開催
- 世代別健康に配慮したメニュー普及業務等

《長野県高等学校長会》

- 教科時間等における食に関する指導 等

《長野県中学校長会》

- 給食を通じた食育の推進
- PTAの協力を得ながら「早寝、早起き、朝ご飯」を意識した生活の推進 等

《栄養教諭・学校栄養職員部会》

- 教科・給食の時間等における食に関する指導 等

《長野県農業会議》

- 各地域での農業体験活動のサポート 等

《長野県保育連盟》

- 安全な給食の提供のあり方について普及啓発 等

《長野県市長会》

- 小学校での親子調理体験教室
- 子ども用食育リーフレットの配布 等

《長野県農業協同組合中央会》

- 小学校等で稲作、大豆栽培から加工を通して食文化の継承支援
- 地産地消料理教室の開催 等

《長野県私立幼稚園・認定こども園協会》

- 給食を展示し保護者の関心を促す 等

《長野県PTA連合会》

- 陽だまり懇談会、YouTubeによる座談会の開催 等

2 世界一の健康長寿を目指す食育

県民一人ひとりが生活習慣病の予防と改善につながる望ましい食習慣を身につけられるよう、県、市町村、関係機関・団体等の連携と協力による取組により、食育を推進します。

目指すべき姿

- 肥満（BMI25以上）とやせ（BMI18.5未満）の人が減少し、適正体重を維持する人が増加。
- 低栄養（BMI20以下）の高齢者（概ね65歳以上）が減少。
- メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）が強く疑われる人・予備群の割合が減少。
- 成人の糖尿病が強く疑われる人・予備群の割合が減少。
- 成人の高血圧者・正常高値血圧の人の割合が減少。
- 何でも噛んで食べられる人が増加。

主な指標

項目	ベース値(2016)	目標(2022)
肥満者（BMI25以上）の割合		
20～69歳男性	35.2%	28%
40～69歳女性	19.6%	19%
低栄養傾向(BMI20以下)の高齢者の割合		
65歳以上男性	10.3%	現状維持
65歳以上女性	23.6%	22%
成人1人1日当たり野菜摂取量	304g	350g
成人1人1日当たりの食塩摂取量	10.3g	8g
日頃よく噛むことを意識している人の割合	58.4%	58.4%

【県の取組】

〔飲食店、スーパー等と連携して、塩分や野菜の量に配慮した
ACEメニューを推進しています〕

健康に配慮した食環境整備事業

■ 3つの星レストラン



3つの星レストランは、
以下3つすべてに取り組みられるお店です

- 1 健康に配慮したメニューの提供
- 2 長野県産食材の利用や長野県の食文化継承の取組を実施
- 3 「食べ残しを減らそう協力店」としての取組を実施

登録店舗数

167店

(R5.1未現在)

県庁食堂、長野県長寿食堂、
デニーズ、小木曾製粉所 など

「長野県庁食堂
(ししとう)」

日替わりで定食を提供



「長野県長寿食堂」



長野駅ビルMIDORIにH27.3/7オープン

「小木曾製粉所」



「健康づくりおすすめセレクト」



■ 信州ACE弁当

ACE弁当は、
以下の基準を満たすお弁当です

- ・エネルギー500～700kcal
- ・野菜140g以上
- ・食塩相当量3g未満
- ・長野県食材の使用



○スーパーでは・・・
ツルヤ「信州ACE弁当」



○仕出し弁当では・・・
宝来「ヘルシー弁当」



○飲食店では・・・
楽蔵(らくら)「楽蔵弁当」



などなど

グルメ検索サイト **Delicious×Komachi** の特設サイトでPR！
グルメポータルデリシャスコマチ



- ◇ 登録店舗を地域別に検索可能
→ 地域を選択すると、そのエリア内の登録店舗が表示され、さらにお店の詳細情報を見ることができます。

<https://wwwdeli-koma.com>で検索！
(パソコン・スマートフォン両対応)

【県の取組】

〔減塩に向けた取組を進めています〕

減塩普及・発信事業

若年層、働き盛り世代、高齢者の各年代に応じた効果的な方法を組み合わせることで啓発をしています。

- ポスター・新聞・テレビ広告による発信
- ホームページ、Web広告、SNSによる発信

食塩摂取量1日8g以下
ゆるしお
YURUSHIO しお

長野県民の食塩摂取量は
全国トップクラスだと知っていますか？

●ゆるしおとは
ゆるしおは、食塩摂取量の目安となる1日8g以下を達成するための取り組みです。

●何がいけないの？
食塩を摂ると、高血圧に繋がります。高血圧は脳卒中や心臓病の原因となります。食塩の摂りすぎは、健康を害する原因となります。

●長野県民は食塩摂取量トップクラス！
食塩摂取量が多い日本人の中で長野県が最も多いと知られています。食塩摂取量が多いと、高血圧になりやすくなります。

●目指そう！食塩摂取量8g以下
日本人の食塩摂取量の2019年度調査結果によると、日本人の食塩摂取量は平均12.5gです。これを8g以下に減らすことが目標です。

だから「減塩」、やろう「ゆるしお」

長野県健康福祉部健康増進課

・自分の食塩摂取状況を把握できるツールの活用

食品	食塩	糖質	脂質	たんぱく質
ゆでたまご	0.5g	0.1g	0.1g	6.0g
ゆでたまご(殻)	0.5g	0.1g	0.1g	6.0g
ゆでたまご(殻)	0.5g	0.1g	0.1g	6.0g
ゆでたまご(殻)	0.5g	0.1g	0.1g	6.0g
ゆでたまご(殻)	0.5g	0.1g	0.1g	6.0g
ゆでたまご(殻)	0.5g	0.1g	0.1g	6.0g
ゆでたまご(殻)	0.5g	0.1g	0.1g	6.0g
ゆでたまご(殻)	0.5g	0.1g	0.1g	6.0g
ゆでたまご(殻)	0.5g	0.1g	0.1g	6.0g
ゆでたまご(殻)	0.5g	0.1g	0.1g	6.0g

・市町村の先駆的な取組を周知

PR

信州ACEプロジェクト

健康診断・減塩から長寿宣言

67.5%

信州ACEプロジェクト

・減塩の必要性を学び、実践へつなげる

健康と塩分って関係あるの？

塩分をとりすぎるとどうなる？

減塩が必要な理由

今知ろうから手遅れ！
若者世代

心臓の負担は大丈夫？
働き盛り世代

健康は若い時から！
シニア世代

知っている人は少ない？
一塩と血圧の関係

〔高齢者の低栄養予防のための取組を進めています〕

ライフステージ別課題に応じた生活改善実践事業

「高齢者の低栄養」等、ライフステージ別に課題があるため、各地域において重点的な対策が必要なライフステージを特定し、各々の課題解決のために食生活改善等の取組を実施しています。

【高齢者】

フレイル予防のための食生活のポイントやレシピ等をまとめたリーフレットを配布等



【働き盛り世代～】

食生活改善推進員が実施している料理講習会や隣近所への訪問の機会に合わせて食生活アンケートを行い、その回答内容に応じて、減塩やバランスのとれた食生活に向けた実践的なアドバイスを実施。

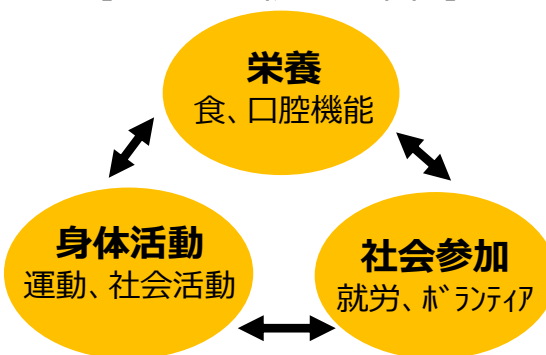


フレイル（虚弱）予防総合推進事業

フレイル（加齢とともに筋力や認知機能等が低下し、要介護状態等の危険性が高くなった状態）予防の重要性について専門職等への理解を深めるとともに、県民への周知を図り、健康寿命の延伸を目指しています。

- 市町村のフレイル予防に関する取組を収集し、県ホームページで公表
- 長野県理学療法士会、長野県保健医療大学と共同で「アルクマと一緒にいつでもストレッチ」動画をYouTubeで配信

【フレイル予防の3本柱】



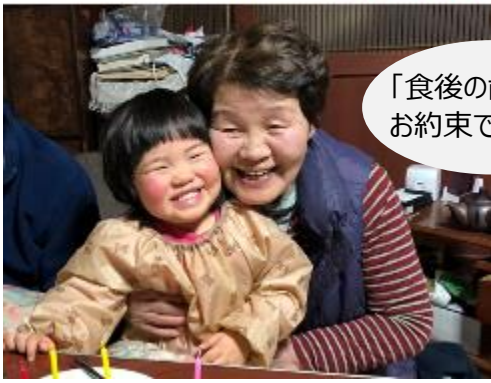
〔歯や口腔の健康は全身の健康とも関連があるため、ライフステージに応じた歯や口腔の健康づくりを充実させ、健康寿命の延伸を図っています〕

8020運動推進特別事業・8020運動普及啓発事業

○ 県民の歯科口腔保健に対する意識の高揚を図るため、「第2回 長野県歯と笑顔のフォトコンテスト」や、県民大会での歯科口腔保健向上に関する研修会を実施しています。

[第2回 長野県歯と笑顔のフォトコンテスト]

ファミリー部門 **最優秀賞**



歯っぴー部門 **最優秀賞**



[令和4年度歯っぴーながの8020推進県民大会]

令和4年度

歯っぴーながの8020推進県民大会

① 会場参加
② 動画配信

第2回 長野県歯と笑顔のフォトコンテスト 表彰式

大会テーマ
「80歳になっても20本以上自分の歯を保とう」
～よい歯で よくかみ よいからだ～
令和4年11月3日(木・祝) 10:00～12:15
会場:ホテル日野21(長野市)

[8020推進支援研修会]
オーラルフレイルについて考える

長野県における オーラルフレイル対策 長野県健康福祉課健康増進科 歯科口腔保健課課長 田上 眞理子 先生	オーラルフレイルと 健康長寿 東京大学高齢社会総合研究機構理事 東京ヒジメン研究会コンタクト部長 飯島 勝矢 先生
---	--

※発表内容は、事前に歯と笑顔のフォトコンテスト事務局へお申し込みください。発表申し込みは、一段階よりドットオンデマンド配信サービスもご利用いただけます。動画コンテンツは、発表当日に配信させていただきます。入場券の発行、アクセス情報などをお問い合わせください。

▶ 長野県歯科医師会公式チャンネル
オンデマンド配信(11/4～11/11)

大会の様子を是非ご視聴ください!

主催: 長野県・長野県教育委員会・長野県歯科医師会
お問い合わせ: 長野県歯科医師会 026-222-3020



〔歯や口腔の健康は全身の健康とも関連があるため、ライフステージに応じた歯や口腔の健康づくりを充実させ、健康寿命の延伸を図っています〕

口腔保健推進センター事業

- 長野県健康福祉部健康増進課内に設置された長野県歯科口腔保健推進センター（※）に属する歯科医師・歯科衛生士を中心に、以下の取組を行いました。

（※）長野県歯科口腔保健推進条例改正に伴い、令和4年度から保健・疾病対策課から健康増進課へ移管。

新規

1 「お口の健康推進員」育成研修会

- ・ 歯や口腔の健康づくりに地域で先導的な役割を果たす「お口の健康推進員」を育成するため、健康食生活改善推進員等の地域関係者に研修会を実施（R4年度：8圏域13会場で開催）

お口の健康推進員 PINS



2 フッ化物応用推進研修会

- ・ 県内市町村のフッ化物応用への取組状況の報告と、外部講師をお招きし、「コロナ禍におけるむし歯の健康格差とフッ化物洗口」をテーマとした講演の実施

3 在宅重度心身障がい児・者の訪問歯科健診

- ・ 在宅重度心身障がい児・者への訪問歯科健診を実施（R4年度96名、実施中）

4 歯や口腔の健康に関する普及啓発活動

- ・ 歯科口腔保健セミナー（県政出前講座）や各種出張講演の実施
- ・ 民間企業と連携した啓発POPの作成・県内スーパーでの掲示等



[第52回長野県食生活改善推進大会]

新規

5 オーラルフレイル対策タスクフォース

- ・ 多職種からなる「オーラルフレイル対策タスクフォース」を設置し、普及啓発、運動・栄養等と一体化した予防活動・相談窓口等の整備の3要素について検討（第1回R4.7.7、第2回R4.9.16、第3回R5.3.1）

【関係機関・団体等の取組】

県民が身体の状態を正しく理解し、生活習慣病予防や介護予防等ができるように支援します。
高齢者のフレイル対策について、栄養管理の観点から周知・啓発を図るとともに、オーラルフレイルに取り組みます。

《長野県食生活改善推進協議会》

- シニアカフェの開催によるフレイル予防の推進
- 県下5,000人を対象に食生活アンケートを実施し、バランスの良い食事と減塩に向けた啓発を実施 等

《長野県歯科医師会》

- 新聞・ラジオ・テレビ等を通じた歯科保健啓発事業の実施
- オーラルフレイル対策「お口の健康推進員研修会」の実施
- 歯っぴーながの8020推進県民大会や学校歯科保健研修会等各種大会の開催 等

《長野県栄養士会》

- 「フレイル予防お手軽レシピ集」の作成と普及啓発
- 「信濃の国食事バランスガイド」の普及啓発
- 長野県長寿食堂へのメニュー提供
- 糖尿病予防講座の開催 等

《長野県市長会》

- 健康診断にあわせた推定塩分摂取量検査事業の実施 等

《長野県生活協同組合連合会》

- 信州まるごと健康チャレンジ2022の取組 等

3 食の循環と地域の食を意識した食育

生産から消費、廃棄に至るまでの一連の「食」の循環を意識しながら、地産地消など様々な体験活動等を通じて食を「学び」、関係者とともに食育を社会や地域で推進します。

目指すべき姿

- 地域の農畜産物や食文化へ関心を持ち、信州農畜産物の利用などによる郷土への理解を深める。
- 食に関する感謝の気持ちを持つ。
- 食品ロスの削減に取り組む。
- 食品に関する信頼できる情報に基づき、適切な判断をし、健全な食生活を行うことのできる知識を持つ。

主な指標

項目	ベース値(2016)	目標(2022)
作ることができる郷土料理や伝統食が1種類以上ある県民の割合	47.5%	増加
食べ物を残すことをもたないことだと思う児童生徒の割合	小5 80.2% 中2 78.5%	増加
1人1日当たりの一般廃棄物排出量	〈2015〉 836g/人・日	〈2020年〉 795g/人・日
「おいしい信州ふーど」SHOP登録数	1,298店	1,600店
食品中の食塩や脂肪の低減に取り組む飲食店の増加 (県産農産物利用の飲食店、弁当)	869店舗	1,000店舗

【県の取組】

〔環境に配慮した農業・農産物への理解促進に向けた取組〕

県産農産物の域内消費流通促進事業

環境に配慮した農業や農産物への理解を促進し、消費拡大につなげるため、県立特別支援学校等に有機米を無償提供するとともに、食育授業を実施

◆有機米コシヒカリ、一部野菜等を県立特別支援学校16校及び県農業大学校、県庁生協食堂に無償提供し、毎月8日の「有機の日」に合わせて有機米給食を実施。
(令和4年11月)

◆環境にやさしい農業の食育教材を作成し、学校へ配布。
栄養教諭による食育だよりとともに、食育活動の際に活用いただいた。
教材を活用するだけでなく、各栄養教諭の創意工夫により各学校でより訴求力のある活動を展開していただいた。



有機米等を活用した給食提供(長野ろう学校)



栄養教諭による食育活動、県産食材の食育教材

○「おいしい信州ふーど」ネット

おいしい信州ふーどのストーリー、SHOP情報、料理レシピやイベント情報等をタイムリーに発信しています。

<http://www.oishii-shinshu.net/>



「おいしい信州ふーど」ネット・「おいしい信州ふーど」キャンペーン アクセス数

項目	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R 3年度	R 4年度 (4-12月)
アクセス数	689,997	805,764	886,045	1,083,245	1,133,101	1,048,497	869,570

○「匂ちゃん」の保育園・学校訪問

給食を通じて地元農産物や農業を学び、食への思いを育むため、キャラクターを活用して保育園や小学校を訪問しました。



項目	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R 3年度	R 4年度 (4-12月)
学校数	12	10	13	10	11	6	2
対象者数	1,108	810	1,720	815	939	624	193

みんなの食品安全・安心会議

- 県下の保健福祉事務所では、県民の皆さんと食品関係者に食品の安全性に関する知識と理解を深めるとともに、県民、事業者、行政の相互理解を目的に、学習会や食品の製造現場等の見学、意見交換などを実施しています。

長野県食品衛生大会

- 食品の安全性に関するシンポジウム等を（一社）長野県食品衛生協会と共催実施しています。（令和4年度は中止※¹）



シンポジウムの様子

食品衛生親子体験事業

- 親子で食品の安全性に関する知識を深めるため、夏休み期間中に県内の食肉衛生検査所において『食品衛生親子体験』を開催しています。



食品工場の見学

※1 令和4年度、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。

〔食品ロスを減らすための取組を進めています〕

「チャレンジ800」ごみ減量推進事業

○「食べ残しを減らそう県民運動～e-プロジェクト～」協力店

食品ロス削減に取り組む飲食店、宿泊施設、小売業を協力店として募集・登録しています。

◆令和3年度 886店舗⇒令和4年12月末現在916店舗

○「残さず食べよう！30・10運動」の啓発

宴会時の最初の30分と最後の10分を自席で料理を楽しみ、食べ残しを減らすことを呼びかける「残さず食べよう！30・10運動」の実施を呼び掛けています。

また、新型コロナウイルス感染症拡大により家庭で食事が増えたことから、家庭における食品ロス削減を呼び掛けるため、毎月30日は「冷蔵庫クリーンアップデー」、毎月10日は「もったいないクッキングデー」として家庭(おうち)で実践！「残さず食べよう！30・10運動」を新たに展開しています。

○「信州発もったいないキャンペーン」

食べるタイミングを考えて消費期限・賞味期限間近の食品から順番に購入することを呼びかけることで食品ロスを削減し、環境にやさしいエシカル消費を促進します。

◆実施事業者数 27 (258店舗)

○フードバンク活動の推進

事業者が抱える未利用食品や家庭で眠っている食品の寄付を促すため、新聞広告を作成し、フードバンク活動への参加を呼びかけました。

啓発ポスター



【関係機関・団体等の取組】

自然豊かな環境で生産された、安全で良質な信州農畜産物の積極的な生産・販売・活用に取り組みます。

飲食店の他、学校給食等において、信州農畜産物を用いたメニューの考案・活用や、郷土食や伝統食を提供し、郷土への愛着が持てる取組を実施します。

《長野県市町村教育委員会連絡協議会》

○地元産の旬の食材を使用した季節感のある献立の実施 等

《長野県農村生活マイスター協会》

○「新農村女性チャレンジプラン推進モデル事業」の実施
○各支部で保育園や学校と連携し農作業や調理体験等地産地消につながる活動を推進 等

《長野県食品衛生協会》

○「食の安心・安全・五つ星事業」における新たな「HACCP型五つ星店」への切り替え推進 等

《長野県農村文化協会》

○小学生への箱膳体験の実施
○各種講演会への講師派遣 等

《調理師会》

○信州サーモン、信州牛、伝統野菜を使用したメニューの取組
○一般市民に県下11支部で食育講習会を開催 等

《長野県学校給食会》

○学校給食に長野県産物を活用した献立コンクールの開催
○入賞献立を中心に掲載したレシピ集を作成 等

《日本司厨士会》

○健康料理教室を地区ごとに開催 等

《長野県町村会》

○地元食材を使用した給食の提供 等

4 信州の食を育む環境づくり

子どもから高齢者まで途切れることなく食育が進むような体制づくりを進めるとともに、食育ボランティア活動が活発に行われてきたという本県の特長である「自治の力」を活かした活動を展開します。

目指すべき姿

- 県民が食育に関心を持つ。
- 食育ボランティアの活動に参加する県民が増加する。
- 生産から消費に至るまでの食に関する様々な実践活動・体験等の場に参加する県民が増加する。
- 子どもから成人、高齢者に至るまで、生涯にわたって、各ライフステージに応じた食育に取り組む。

主な指標

項目	ベース値(2016)	目標(2022)
食育に関心のある県民の割合	48.0%	60%
食育ボランティア数	18,435人	20,000人
市町村食育推進計画の策定割合	51市町村 (66.2%)	100%

【県の取組】

〔県民の皆さんに「食育」を発信。みんなで食育に取り組めます〕



たいせつな家族の未来のために
じれっと減塩
しちゃいませんか？

店頭にて
ツルヤオリジナルの
レシピを大公開！

《じれっと減塩メニュー監修》
日本料理「ゆ庵」代表 湯本 忠仁
長野県調理師会 会長 黄綬褒章受章(平成25年)
長野県知事表彰(平成22年)
(一社)全国日本調理技術士連合会 副会長
長野市在住

TSURUYA Eat Well, Live Well.
Ajinomoto
House

食品関連企業や団体と連携して減塩の啓発や料理を発信しています



地域食育フォーラム

〔食育ボランティアの活動を支援します〕

食生活改善推進員の育成や活動を支援するとともに、活動強化につながる会議や研修会を開催しています。

農業リーダー育成事業（農村女性活動支援）



健康ボランティア活動強化事業



農村女性を対象とした研修会の開催やグループ活動を支援しています。

〔信州の食を情報発信します〕

料理検索サイト「クックパッド 長野県公式キッチン」へのレシピ掲載

長野県の「食」を広く発信するため、「おいしい信州ふード」を使用したレシピや、健康づくり応援レシピなど、おいしくて健康的な信州の食材を使ったレシピを紹介しています。

県オリジナル食材の調理活用開発

県内の高校生が調理師会と共同で、県オリジナル食材を活用したメニューを開発しました。高校生のアイデアにプロのアドバイスが加わったこだわりのレシピを紹介します！

「ぼたんこしょうの焼きキーマカレー」

R3年度 下高井農林高校



学校給食献立レシピ

学校給食で提供されている料理を、家庭用にアレンジしレシピ化しました！懐かしい給食レシピも見つかるかも！？

近日公開「凍り豆腐のマーボースープ」

★長野県学校給食会献立コンクール
令和4年度特別賞受賞レシピ中の一品！



信州ACEプロジェクト健康づくり応援献立

「野菜やきのこをたっぷり」
「塩分控えめでも美味しく」をテーマに、ご家庭で手軽にできるヘルシー献立をご紹介します！
健康づくりの「ちょっとしたコツ」が満載です♪



「ほうれん草とりのりの和風サラダ」

★「和風サラダ」の人気検索で
トップ10入り！

「簡単！信州きのこのマリネ」

★「きのこのマリネ」の人気検索でトップ10入り！



野菜ときのこがたっぷりで、ヘルシーなのにボリュームは満点！味噌のコクやマリネの酸味など様々な味が楽しめる献立です。

★第1弾「健康づくり応援(ACE)献立」

クックパッド「長野県公式キッチン」はこちら
<http://cookpad.com/kitchen/9907870>

【クックパッド公式キッチンとは】・・・「クックパッド」は、クックパッド(株)が運営する、H10年3月サービス開始の日本最大の料理レシピサービス。投稿レシピ数は約300万品以上。ひと月の利用者数は約5,400万人で、20～30代女性の多くが活用しています。サイトの「クックパッド公式キッチン」では、タレントや自治体等が、レシピを始め食に関する情報を発信しています。

【関係機関・団体等の取組】

市町村・関係団体・農業関係者・食育ボランティア等と連携した食育活動を行うとともに、効果的な事例を共有し、食育の取組を発展させます。

「食育月間」、「健康増進普及月間」、「食育の日」、「家庭の日」、「栄養の日」等に合わせた普及啓発を行います。

《長野県栄養士会》

○「栄養の日」キャンペーンとして、県下7地区の商業施設等で食育に関する展示やレシピの紹介、栄養相談等を実施 等

《農林水産省関東農政局》

○「食育月間」にHP「おうちde食育」を開設し、食育等に関するコンテンツを動画を中心に情報発信
○食育実践者交流会「食育推進フォーラム」の開催
○「みどりの食料システム戦略」の具体的な取組について消費者に説明 等

《長野県農業協同組合中央会》

○農業体験学習会の実施
○食育に関するシンポジウム等の開催 等

《長野県私立幼稚園・認定こども園協会》

○職員にアレルギーの勉強会開催 等

《栄養教諭・学校栄養職員部会》

○地域の食育ボランティア（食会・農村マイスター等）と連携した郷土食・行事食の伝承活動
○学校保健会等で児童生徒の食生活等に関する実態の周知 等

《長野県保育連盟》

○長野県保育研究大会において幼児期のよりよい食育について研究討議 等

《市長会》 《町村会》

○食育推進計画策定
○減塩の日、食育の日の普及啓発
○各種献身・教室等での食育啓発 等

《長野県市町村教育委員会連絡協議会》

○月1回歯の日に合わせてカルシウムの多い献立の提供 等